



9784299033727



1920236009006

ISBN978-4-299-03372-7  
C0236 ¥900E

定価990円

本体900円+税10%

2020年5月、コロナ対策の二環として「新しい生活様式」が提唱された。あれから2年——ウイルスの弱毒化を指摘する専門家も多いなか、日本人の大半は「毎日マスク」の日常から脱却できていない。保育や教育の現場でも「密」を避け、顔をマスクで覆うことが、感染対策の名のもとに継続されているが、これが子どもたちの心身の正常な発達を阻害するリスクについては黙殺されている。比較認知発達科学を専門とする京都大学の脳科学者が提言する、脱マスクへの処方箋とは？

## 「マスク育児」から脱却できない 日本の保育・教育現場の大問題！

- ◆ 赤ちゃんは相手の目よりも口元に注目している
- ◆ 乳幼児期の「心地いい感覚」が脳を育てる
- ◆ 他者との“絆”によって育まれる脳の前頭前野
- ◆ 子どもの正常な発達には「密」が欠かせない
- ◆ ヒトは「サル真似」によって心身を育てる
- ◆ 「なんでもすぐ消毒」に潜む健康リスク
- ◆ 素顔を晒すことに抵抗を覚える子どもたち
- ◆ 「いっせいにマスクを外そう」はナンセンス
- ◆ 不安ばかりを煽りがちな日本のメディア